

本資料のうち、枠囲みの内容は
他社の機密事項を含む可能性が
あるため公開できません。

女川原子力発電所第2号機 工事計画審査資料	
資料番号	02-他-F-01-0091_改0
提出年月日	2021年9月24日

積雪に対する設計における除雪の考慮について

積雪に対する設計における除雪の考慮について以下に整理する。

表1 積雪に対する設計における除雪の考慮について

		柏崎刈羽原子力発電所第7号機	東海第二発電所	女川原子力発電所第2号機
設計基準積雪量の設定				<ul style="list-style-type: none"> 設計基準値の設定に除雪を考慮しない。 観測記録のうち月最深積雪の最大値43cmを設計基準積雪量として設定。
評価の方針	設計基準対象施設			<ul style="list-style-type: none"> 設計基準積雪量に対して、安全施設が積雪による荷重および閉塞により機能喪失に至ることがないことを確認。 給気口等は、設計基準積雪量よりも高い位置に横向きに設置することで閉塞しない設計。風の影響により給気口が雪で閉塞するような場合は除雪を実施。(雪を払う) 荷重の組合せについて、副事象として積雪を考慮する場合は、地震又は津波と組み合わせる場合は、建築基準法に基づき設計基準積雪量による荷重に係数0.35を考慮。火山の影響と組み合わせる場合は、設計基準積雪量43cmの荷重を考慮。
	重大事故等対処設備			<ul style="list-style-type: none"> 除雪にて対応。